

1人1台端末の活用による実践事例

(小・中学校)

学校名	玉野市立荘内中学校	実践者名	清水 淳一
教科等	技術	学年	第1学年
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
育成したい 資質・能力	思考力・判断力・表現力等		
単元・内容等	単元 材料と加工に関する技術 ・内容「割り箸とマイ箸を技術的に比較しよう」(オンライン授業)		
児童生徒の実態 (端末活用頻度等)	授業、学級活動、委員会など様々な場面で活用している。 毎日持ち帰り、AIドリルを使った先行学習や課題の提出を行っている		
活用の概要(使用アプリ名を含む)			
【事前課題】 Classroomに、本時の関連動画を教師が事前にアップし、生徒は視聴しておく。			
【本時(Meetによるオンライン授業)】 (1) 学習の見通しをもち、めあてをつかむ。			
めあて 割り箸とマイ箸を技術的に比較しよう			
(2) Meetのチャット欄を活用し気付いたことを書き込む。			
(3) グループごとに話し合う。 ・グループごとに立ち上げられたMeetのルームに移動し、Jamboardを活用して話し合う。 ・教師は、全てのグループのルームに入室し、様子を見る。			
(4) まとめと振り返りを行う。			
実践者の手ごたえ		児童生徒の振り返りや反応等	
学習内容の授業の流れを明確にし、最初に示したことで、全員見通しをもって授業に参加することが出来た。一方で、慣れない操作によって、戸惑う生徒がいたことで、操作に慣れている生徒が手持ち無沙汰になる場面があった。		(児童のジャムボードから)	